「平成 29 年度食品産業グローバル展開推進委託事業のうち 食品等規格基準等調査」事業

報告書

平成 30 年 3 月 26 日

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-4-11 パシフィックスクエア九段南 3F

アルゴリンクス株式会社 代表取締役社長 山本 公一 常任顧問 浜野 弘昭

「平成 29 年度食品産業グローバル展開推進委託事業のうち 食品等規格基準等調査」事業 報告書

1. 事業名

平成29年度食品産業グローバル展開推進委託事業のうち食品等規格基準等調査

2. 事業の目的

我が国の農林水産物・食品(以下「日本産品」という。)の輸出や食産業の海外展開に際しては、日本産品が相手国の定める食品等に係る法規、規格及び規制(以下「食品規格等」という。)に適合する必要があるが、輸出等を検討する我が国の食品関連事業者等(以下「事業者等」という。)が食品規格等について十分な情報を有していないため、このことが輸出促進や海外展開の阻害要因となっている。

こうした状況を改善するため、平成26年度から、農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略(平成25年8月農林水産省公表。)に位置付けられた重点国・地域における重要品目を対象に、順次、各国・地域の食品規格等に関する情報を取りまとめ、検索可能な情報としてウェブコンテンツ化し事業者等に共有を図ることで阻害要因の解消に取り組んでいるところである。

本事業では、過年度に調査した国・地域の関連する法令等の改正に伴う情報の更新を実施し、データベースの充実を図ることとする。

3. 事業の内容

本年度事業では、過年度に調査した国・地域の関連する法令等の改正に伴う情報を 洗い出し、更新を実施した。また、調査各国の主要な関連法規及びコーデックス文書 資料についても、追加の調査(聞き取りを含む)を実施した。

(1) 食品規格基準等調査

輸出戦略において重点国・地域に設定された調査対象国・地域について、それぞれ以下に示される調査項目について調査した。更新調査に縛られず、調査開始にあたって調査項目の再構成を可能な限り行い、食品の法的枠組み、食品添加物、食品表示、健康強調表示・機能性食品、製造工程認証、個別食品規格として調査を行った。

[調査対象国・地域]

東アジア :台湾

東南アジア :シンガポール、マレーシア、ブルネイ、インドネシア、タイ、ベ

トナム、ミャンマー、フィリピン、カンボジア、ラオス

南アジア : <u>インド</u>

国際:コーデックス委員会

[調査対象項目]

(ア) 食品関連法規

食品関連法規の枠組み及びそれら個々の法規の概要。

(イ) 食品添加物関連法規

食品添加物に関連する法規の枠組み(食品添加物、香料、キャリーオーバ、加工助剤等の定義、使用基準等を含む)。

(ウ) 食品表示規格・基準

食品表示に関する基準(基本的表示事項、原料原産地、アレルゲン、遺伝子組み換え等、栄養表示に係る表示基準)。

(エ) 健康強調・機能性食品

栄養強調表示及び健康強調表示に関する基準。

(才) 製造工程認証

GMP (適正製造規範)、HACCP (危害分析重要管理点)等の製造工程認証の適用の有無、当製造工程認証が必須の場合の適用食品カテゴリー及びその製造工程認証の内容。

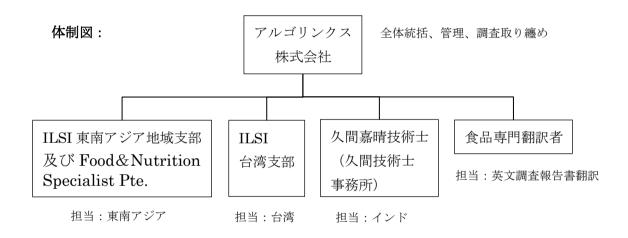
- (ウ) 個別食品規格 (事例研究)
 - ・ 調味料類 (味噌、醤油などの規格)
 - 菓子類(キャンディ、チョコレートなどの規格)
 - ・ 清涼飲料 (炭酸飲料、ジュースなどの規格)
 - レトルト食品(レトルト食品の規格)
 - めん類 (パスタ、即席めんなどの規格)
 - 乳・乳製品(チーズ、バターなどの規格)
 - アルコール飲料 (ワインなどの規格)
 - 調理冷凍食品(調理冷凍食品の規格)

平成29年度事業の調査国・地域並びに調査項目・内容一覧 ※青枠が今回の対象。

MAFF 農林水産省 各国の食品・添加物等の規格基準															
							個別食品規格								
国・地域		法的枠組	食品添加物	食品表示	健康強調・ 機能性食品	製造工程 認証	調味料類	菓子類	清涼飲料	レトルト 食品	めん類	乳・乳製品	アルコール 飲料	調理 冷凍食品	残留農薬
コーデックス	0	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/0
☆ 香港	Ø	2016/02	2016/02	2016/02	未調査	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	未調査	未調査	未調査	未調査	未調査	2016/0
* 台湾	0	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	未調査	2018/02	2018/02	未調査	2018/02	2018/0
₩ 韓国	9	2016/02	2015/12	2016/02	2016/02	未調査	2016/02	2016/02	2016/02	未調査	2016/02	2016/02	未調査	2016/02	未調査
* 注 中国	0	2016/02	2015/12	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	2016/
シンガポール	0	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/
マレーシア	0	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	未調査	2018/02	2018/
ブルネイ	0	2018/02	2018/02	未調査	2018/02	未調査	未調査	未調査	2018/02	未調査	2018/02	未調査	未調査	2018/02	未調査
インドネシア	0	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	未調査	2018/02	2018/
タイ	0	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/
★ ベトナム	0	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/
ミャンマー	0	2018/02	2018/02	未調査	2018/02	未調査	未調査	未調査	2018/02	未調査	2018/02	2018/02	未調査	2018/02	未調査
フィリピン	0	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/
<u></u> カンボジア	0	2018/02	2018/02	未調査	2018/02	未調査	未調査	未調査	2018/02	未調査	2018/02	未調査	未調査	2018/02	未調査
ラオス	0	2018/02	2018/02	未調査	2018/02	未調査	未調査	未調査	2018/02	未調査	2018/02	未調査	未調査	2018/02	未調査
● インド	9	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	未調査	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	2018/02	未調査	2018/02	2018/
UAE	0	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	未調査	未調査	2016/02	2016/02	2016/02	未調査	未調査	2016/
プラジル	0	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	未調査	未調査	2016/02	2016/02	2016/02	未調査	未調査	2016/
ロシア	0	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	未調査	未調査	2016/02	2016/02	2016/02	2016/02	未調査	2016/
[編] スリランカ	0	2016/02	2016/02	未調査	2016/02	未調査	未調査	未調査	2016/02	未調査	2016/02	未調査	未調査	2016/02	未調査
ネパール	0	2016/02	2016/02	未調査	2016/02	未調査	未調査	未調査	2016/02	未調査	2016/02	未調査	未調査	2016/02	未調
バングラデシュ	0	2016/02	2016/02	未調査	2016/02	未調査	未調査	未調査	2016/02	未調査	2016/02	未調査	未調査	2016/02	未調査

(2) 調査体制

- アルゴリンクス社は各国調査パートナーを管理するとともに、調査報告書の 食品規制・研究専門翻訳者管理、独自で有する IT 技術を活用した調査結果 のデータベース化を行った。また、調査対象国のうち、食品メーカーのニー ズの高いベトナム、タイについて、サンプリングの意味も含めて追跡現地調 査を行った。
- アルゴリンクス社が実施する現地調査のコーディネーターとして、ブランズ・サントリー(タイ)元社長・元 ILSI ジャパンの太田裕見氏に協力を仰ぎ、タイおよびベトナムの現地調査を行った。(後述)
- 東南アジア、台湾の調査においては、過年度における同様の調査経験・実績に基づき、ILSI 東南アジア地域支部及び Food&Nutrition Specialist Pte.、ILSI 台湾支部と協力して調査を行った。
- インドにおいてもは、久間嘉晴技術士(久間技術士事務所)と協力して調査 を行った。



(3) 調査、スケジュール

アルゴリンクス社が中心となり、ILSI 東南アジア地域支部の運営会社 Food & Nutrition Specialist Pte.、ILSI 台湾支部、久間嘉晴技術士に参加を求め、次の手順で調査を進めた。

- 1) アルゴリンクス は、仕様書に従い、調査プログラムと調査票を開発・設計し、 英語版の調査票を作成。
 - ・ 平成 29 年 12 月 27 日:電子メールにて Food & Nutrition Specialist Pte. Pauline Chan 氏に、過年度における同様の調査経験・実績に基づき、同国における事業展開実績の知見があることから、調査に先立ち東南アジア地域の事前の情報収集の依頼を行った。
 - ・ 平成30年1月6日:日本にて**久間嘉晴技術士**と打ち合わせを行い、同国における事業展開実績の知見があることから、調査の依頼を行った。
 - ・ 平成 30 年 1 月 8 日・9 日:台湾において ILSI 台湾支部の Lu-Hung Chen 会

- 長、Bonnie Chou 事務局長と打ち合わせを行い、過年度における同様の調査経験・実績に基づき、調査の依頼を行った。また、同国における乳製品及びアレルギーの変更があることを事前に確認した。
- ・ 平成 30 年 2 月 1 日: Food & Nutrition Specialist Pte. の情報収集結果において問題がないとの報告から調査の正式依頼(契約)を行った。また、事前の情報収集においてフィリピンの添加物情報ほか、インドネシアの個別食品規格に大きく変更があることを事前に確認した。
- 平成30年2月12日:シンガポールにおいてFood&Nutrition Specialist
 Pte. Pauline Chan 氏と打ち合わせを行い、調査の進捗状況を受け、問題が発生していないことを確認した。
- 2) タイにおいてにおいて情報収集として現地調査を行った。
- ・ 平成30年2月12日:タイにおいて、現地調査の一環として食品輸入代行の 現地エージェントであるトータイネットワーク社の寺村氏、水産卸売業の OCEAN FRESH TRADING 社の中村氏にヒアリングを実施し、タイの食品 輸出入状況、タイの軍事政権下による情報収集の難易度を確認した。
- ・ 平成 30 年 2 月 12 日:タイにおいて、ブランズ・サントリー(タイ)元社長太田裕見氏の協力を得て、ブロンズ・サントリー社コンサルタントの Dr. Lackana にヒアリングを実施し、タイ FDA の最新の規制情報確認元の提供を依頼した。
- 3) ベトナムにおいて情報収集として現地調査を行った。
- ・ 平成30年3月1日・2日:ベトナムにおいて、太田裕見氏の紹介でJICAベトナム事務所兼ベトナム食品産業局アドバイザーの牛尾光宏氏に協力を仰ぎ、ベトナム食品産業局副局長DOHUUTUAN氏、他スタッフ5名にヒアリングを実施した。ベトナムにおける食品添加物情報、食品表示、食品輸入検疫などの状況、情報確認元、手続きなどを確認した。また、通訳を依頼したカイン氏が元JICA職員かつベトナム食品産業局とのネットワークを有することからより事後の確認フォロー、追加情報収集の提供を依頼した。
- 4) 調査票を集計、日本語に翻訳した。
- ・ 作業期間: 平成30年2~3月17日 調査結果の該当箇所翻訳作業編集および検証を行い、また最終納品物についてもダブルチェックを行うことで、翻訳漏れ、差異、誤記を検出し然るべき対応を行った。
- 5) 調査情報のデータベース化
- ・ 作業期間: 平成30年2~3月20日 収集した各種情報を検索可能な情報と してデータベース化を行った。
- ・ 機能としては、27年度までの機能を含んだ上で、未調査国・項目が混在する ため、即判読可能なように一覧全体を見直した。また、閲覧性を上げるため に国比較、国一括照会、自動目次表示などの新機能を追加した。
- ・ 情報の閲覧性(必要な情報の所在認識)を向上させるため、情報項目の再構成化を行った。具体的には、健康食品情報の栄養表示を食品表示に、栄養機能表示・健康強調表示を健康強調表示・機能性食品として新項目を設定し

た。

- ・ 調査対象外国の情報が混在するため、必要な構成変更をあわせて行った。
- ・ なお、本報告書においては、データベース上の情報を紙媒体として各国毎に まとめて印刷、添付した。

6) 事業実施スケジュールのまとめ

	H29/12	H30/1	2	3				
調査内容・依頼作 成・依頼								
各国・地域調査の指 示及びフォロー		○1/6 インド(日: ○1/9 台湾(台:						
現地調査			○2/13 夕々	↑ ○3/2ベトナム				
英文報告書の翻訳・ 精査								
調査の取り纏め・ データベース化								
報告書の作成				◎ 3/26 報告				

4. 調查専従担当者連絡先:

氏名:山本 公一

所属:アルゴリンクス株式会社

住所: 〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-4-11

パシフィックスクエア九段南 3F

電話: 03-4405-8790 Fax: 03-4405-8791

メールアドレス: <u>koichi.yamamoto@algolynx.com</u>

氏名:浜野 弘昭

所属:アルゴリンクス株式会社

住所:〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-4-11

パシフィックスクエア九段南 3F

電話: 03-4405-8790 Fax: 03-4405-8791

メールアドレス: hiroaki.hamano@alolynx.com